【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成20年5月8日(2008.5.8)

【公開番号】特開2006-110325(P2006-110325A)
【公開日】平成18年4月27日(2006.4.27)
【年通号数】公開・登録公報2006-017
【出願番号】特願2005-125554(P2005-125554)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　17/115　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　17/04　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　24/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　17/11　３１０
Ａ６１Ｂ　17/04
Ａ６１Ｌ　25/00　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成20年3月25日(2008.3.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
円形ステープリング装置のためのアンビルアセンブリであって、該アンビルアセンブリは、以下：
環状ナイフ、および該環状ナイフの半径方向内側に配置された接続部材を有する管状本体部分であって、該管状本体部分は、ステープルカートリッジを有し、該ステープルカートリッジは、環状アレイの複数の外科用ステープルを収容し、該外科用ステープルは、該環状ナイフの半径方向外側に配置されている、管状本体部分；
アンビルヘッドを有するアンビルアセンブリであって、該アンビルアセンブリ上にアンビルプレートを支持するように構成された、アンビルアセンブリ；
該アンビルアセンブリヘッドから延び、そして該管状本体部分の円形ステープリング装置の結合部材を選択的に係合するように構成された、シャフト；
該アンビルヘッドに作動可能に結合されたアンビルプレートであって、該アンビルプレートは、内部に複数のステープル成形ポケットを規定する、アンビルプレート；ならびに
該アンビルプレートの各ステープル成形ポケット内に配置される、創傷処置物質であって、該創傷処置物質は、予め硬化した封止剤または接着剤を含有する、創傷処置物質、
を備える、アンビルアセンブリ。
【請求項２】
前記創傷処置物質が、接着剤、封止剤、止血物質および医薬のうちの少なくとも１つを含有する、請求項１に記載のアンビルアセンブリ。
【請求項３】
前記接着剤が、組織との接触の際に硬化する接着剤、紫外（ＵＶ）光への曝露の際に硬化する接着剤、および感圧性である接着剤のうちの少なくとも１つを含む、請求項２に記載のアンビルアセンブリ。
【請求項４】
前記封止剤物質が、フィブリン封止剤物質、コラーゲンベースの合成ポリマーベースの

組織封止剤物質、および合成ポリエチレングリコールベースのヒドロゲル封止剤物質のうちの少なくとも１つを含む、請求項２に記載のアンビルアセンブリ。
【請求項５】
前記医薬が、薬物、酵素、増殖因子、ペプチド、タンパク質、色素、および診断剤のうちの少なくとも１つを含有する、請求項２に記載のアンビルアセンブリ。
【請求項６】
前記複数のステープル成形ポケットを覆うライナーをさらに備える、請求項１に記載のアンビルアセンブリ。
【請求項７】
前記ステープル成形ポケットが、間隔を空けた１対の同心環状リングとして配置されている、請求項１に記載のアンビルアセンブリ。
【請求項８】
前記ステープル成形ポケットが、外科用ステープリング装置のステープルカートリッジアセンブリ内に形成された、それぞれのステープル保持スロットと位置合わせされている、請求項１に記載のアンビルアセンブリ。
【請求項９】
前記創傷処置物質が、カプセルに収容されている、請求項１に記載のアンビルアセンブリ。